

観光交流年 日本への高い関心

相互の交流が進む東洋の真珠・香港

高山市では、国際的な観光戦略のために海外に職員を派遣し、国際観光都市「飛驒高山」をPRしています。現在、自治体国際化協会パリ事務所と日本政府観光局香港事務所それぞれ1人ずつ、計2人の職員を派遣し、観光情報の提供や国際的な観光展でのPR活動を行っています。

今号では、香港派遣職員からのレポートをご紹介します。



海から見た昼の香港島。手前はジャンク船 (写真提供：香港政府観光局)

香港（中華人民共和国香港特別行政区）は面積1104平方キロ（高山市の約半分）という狭い土地に、約700万人が暮らす過密都市で、主な産業は金融や貿易などです。

香港の人々は、土地が狭いため余暇活動が限られているほか、厳しい競争社会からストレスを抱えながら生活しているといわれています。そのため心身の疲れを癒し、リラクセスしたいといった目的で、旅行への関心は極めて高いものがあります。旅行先の上位は、台湾に続き日本が2位となっており、訪日旅行者数は平成20年には約55万人（前年比27%増）と、増加傾向が続いています。高山市には同年約6千500人（前年比89%増）が訪れています。また、香港からの訪日旅行者はリピーター率が8割と大変高いのが特徴で、東京や大阪な

どを既に訪問したことがある旅行者が、これまであまり訪問しなかった日本の地方の観光地を訪れるようになってきています。

平成21年は日本政府と香港政府により「2009日本香港観光交流年」と定められ、両政府により相互交流の機運を高めるさまざまなプロモーション事業が進められています。この一環として、今年6月には日本政府が、香港で開催される最大の旅行見本市である「第23回香港国際旅游展（ITE2009）」に出展しました。4日間の期間中、延べ7万5千人の来場があり、飛驒高山もブース出展しました。これまでの長年のPR効果もあつて、飛驒高山ブリスは大変人気があり、多くのお客様が訪れました。今後も引き続き、飛驒高山をはじめ、日本の魅力を大いに発信していきます。



高山市香港派遣職員
村井 篤

交換が可能に エコポイントと 地元商品券

地球温暖化対策や経済の活性化などを目的に、省エネ性能に優れたエアコンや地デジ対応テレビ、冷蔵庫の家電製品（グリーン家電）を購入すると、さまざまな商品やサービスに交換できるポイントが付与される「エコポイント制度」について、市内の3事業所の商品券と交換ができるようになりました。ぜひご利用ください。

《交換可能な事業所の商品券》

高山市商店街振興組合連合会（高山市商店街振興組合連合会共通商品券）、高山南商品券発行事務組合（高山南商品券）、株式会社駿河屋魚一（駿河屋商品券）

問合せ先

商工課

35-3426